

慣れる 児童生徒がタブレットのよさを感じ、文具やコミュニケーションツールとして活用している



【東広島市版GIGAスクール推進スケジュール】

目標	慣れる Step1	つながる Part.1	慣れる Step2	つながる Part.2	慣れる Step3						
毎日PCの電源を入れる	毎日PCの電源を入れる	オンライン使用	学びの中で多様に使う	オンライン使用	学びの中で主体的に使う						
学校の実態に応じて段階的に実施	学校の実態に応じて段階的に実施	夏季休業 持ち帰り	可能な範囲で週1回	冬季休業 持ち帰り	週1回以上も可能						
月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校	<p>第一回 情報活用能力アンケート(小5・中2)</p> <p>Google Workspace を使って接続チェック</p> <p>目的(新型コロナウイルス対応) 家庭での接続状況把握</p> <p>※小学校低学年・中学校1年生 同意書不要</p> <p>※長期間休業する家庭へのモバイルルーター貸与の参考とする。</p> <p>お絵かきソフトで 掲示物作成</p>	<p>Google Workspace を使って接続チェック</p> <p>目的(児童生徒及び教員の技能習得) 学校と家庭をつないだやりとり体験</p> <p>※ネット環境のない家庭へ長期期間中に限り、モバイルルーターを貸与する。貸与及び回収は学校の管理下で行う。</p> <p>表計算ソフトで 表・グラフ作成</p> <p>プレゼンテーションソフトで まとめたことを発表</p> <p>インターネット 電子百科事典で 情報収集</p> <p>録画機能で 振り返り&改善</p> <p>文書作成ソフトで 作文&校閲機能活用</p> <p>ICT作品コンペ プレゼンテーション部門 12/3×切</p>	<p>Google Workspace を使って接続チェック</p> <p>目的(児童生徒及び教員の技能習得) 学校と家庭をつないだやりとり体験</p> <p>※ネット環境のない家庭へ長期期間中に限り、モバイルルーターを貸与する。貸与及び回収は学校の管理下で行う。</p> <p>編集機能で 協働作業 協働制作</p> <p>音声認識機能で 発音チェック</p> <p>遠隔授業で 多様なつながり</p> <p>ICT授業コンペ</p> <p>ICT作品コンペ プログラミング部門 9/10×切</p>	<p>Google Workspace を使って接続チェック</p> <p>目的(児童生徒及び教員の技能習得) 学校と家庭をつないだやりとり体験</p> <p>※ネット環境のない家庭へ長期期間中に限り、モバイルルーターを貸与する。貸与及び回収は学校の管理下で行う。</p> <p>編集機能で 協働作業 協働制作</p> <p>音声認識機能で 発音チェック</p> <p>遠隔授業で 多様なつながり</p> <p>ICT授業コンペ</p> <p>ICT作品コンペ プログラミング部門 9/10×切</p>	<p>第一回 情報活用能力アンケート(小5・中2)</p> <p>GIGAスクール構想推進体制アンケート(学校長)</p> <p>ICT活用指導力アンケート(教員)</p> <p>※令和2年度一学校における教育の情報化の実態等に関する調査と兼ねる。但し、質問項目が変わった場合は独自にアンケートをする場合もある。</p> <p>年度末更新作業があるため持ち帰りは学校の判断とする。</p>						
機器管理	<p>iPad導入(主として特支・日本語学級)</p> <p>5/26 電子百科事典使用研修</p> <p>6/11 英語デジタル教材(中学校)使用研修</p> <p>6/18 英語デジタル教材(小学校)使用研修</p>	<p>ネットワーク関係工事開始</p>	<p>年度末アカウント更新作業の効率化検討</p>	<p>9/7 推進協議会</p> <p>1/18 推進協議会</p>	<p>5/19 実践交流会</p> <p>6/16 実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p>						
教育委員会	<p>5/19 実践交流会</p>	<p>6/16 実践交流会</p>	<p>9/7 推進協議会</p>	<p>1/18 推進協議会</p>	<p>5/19 実践交流会</p> <p>6/16 実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p>						
研修等	<p>5/19 実践交流会</p>	<p>6/16 実践交流会</p>	<p>9/7 推進協議会</p>	<p>1/18 推進協議会</p>	<p>5/19 実践交流会</p> <p>6/16 実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p> <p>実践交流会</p>						
	<p>デジタルコンテンツ作成 広大連携事業 学校・大学・地域を結んで東広島市を学ぶ!</p>										
	<p>サポートBOX</p>										

情報教育推進室の取組

タブレットを使ってできる活動例

○：オフラインで使用可能 △：オンラインが必要

ICTを活用した授業力の向上

- GIGAスクール推進協議会**
GIGAスクール構想推進に係り、市として共通認識して進めたい内容について研修します。
実施 年3回
対象 GIGAスクール推進教員
- ICT実践交流会**
ICTを活用した授業実践等をリモートで交流し、所属校の実践に活かすことで授業の質のさらなる向上を図ります。
実施 月1回程度 水曜日
対象 希望者
- 要請&出前講座**
学校の希望する内容に応じた研修を、オンライン、または訪問にて実施します。
実施 希望内容に応じた研修
オンライン 年8回程度
希望校訪問 随時
対象 希望者または希望校
- ICT授業コンペ**
教育研究奨励賞の審査対象を授業実践にまで広げ、個人の部で表彰します。
- デジタルコンテンツ作成**
授業等で使えるデジタルコンテンツを作成し、提供します。

児童・生徒のICT活用能力の向上

- ICT作品コンペ**
児童生徒が作成した作品を募集・審査し、表彰します。
実施 プレゼンテーション部門 5月～11月 授業で作成した作品
プログラミング部門 夏季休業中に作成した作品
※各部門にブロック(中学年・高学年等)を設定 応募作品数1校あたり各ブロック1点

GIGAスクール構想を支える環境整備

- サポートBOX**
Meet 内にGIGAスクール推進に係るご相談・ご意見等を随時受け付ける部屋を開設し、支援・改善を行います。
- 「GIGAっつ」発行**
情報教育推進室からのお知らせや各学校の先進的な取組を定期的にお伝えします。
- 導入ソフトの研修支援**
- GIGA★コン 管理・更新**
- 各種機器等保守・管理**
- デジ★コン 管理・更新**

活動	主な活動例	主な使用ソフト等	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	家庭学習
プレゼンテーションを作る	国語科「A 話すこと・聞くこと」「C 読むこと(説明文)」や社会科等の学習で調べたことをまとめ、発表する。	ピクチャーキッズ パワーポイント	○	○	○	○	○
ローマ字(かな)入力 で文書を作る	各教科等で発表資料を作成する際に原稿を書く。 国語科「B 書くこと」の学習で作文を書く。	ピクチャーキッズ ワード	○	○	○	○	○
表・グラフをつくる	算数・数学科「D データの活用」の学習で、表やグラフを作成する。 各教科等の学習で必要に応じて発表資料として表やグラフを作成する。	エクセル			○	○	○
写真を撮る	観察記録を作る。 自力解決した解答を撮って大型提示装置に映し、説明する。 撮った写真を加工して作品を作る。	カメラ機能 ピクチャーキッズ デジピックス	○	○	○	○	○
ビデオ撮る	自分の動き(運動・音読・発表等)を撮って振り返り、課題を発見・解決して改善する。 模範演技を撮って見ることでイメージを作る。 見学先の様子や説明の話を撮って、まとめる時の資料にする。	カメラ機能	○	○	○	○	○
プログラミングを体験する	学習指導要領に例示されている単元等で体験する。	スクラッチ		○	○	○	○
調べる	各教科等の学習で必要に応じて目的に合った資料を収集する。	電子百科事典 インターネット	○	○	○	○	△
ドリル学習をする	学習内容の定着を図るために、授業の後半で使用。 テスト前の復習をするために使用する。	タブレットドリル eライブラリ	○	○	○	○	△
自主学習をする	学習内容に関連する多くの英文に触れ、さらに力を伸ばす。	英語デジタル教材(中)				○	△
授業を組み立てる	児童生徒の考えを整理し、話し合いを組み立てる。	STUDYNOTE10	○	○	○	○	—

タブレットの持ち帰りについて

教育委員会の考え方

授業の中で効率的・効果的にタブレットを使うには、児童生徒に必要な技能を身に付けさせる必要があるため、総合的な学習の時間や教科、帯時間等を使って指導する。しかし、無制限に時間があるわけではないので、習熟のために家に持ち帰って使わせることが必要である。

※総合的な学習の時間の中で、探究的な学習の一環としてコンピュータなどの情報機器の活用方法を学習することは考えられますが、探究的な学習の一環とは言えない、**スキル習得を目的とした学習だけで、総合的な学習の指導内容を構成することは適当ではありません。**総合的な学習の時間の目標を踏まえ、探究的な学習を行う中で情報機器の活用に必然性があることが重要です。なお、**学習指導要領の総則に示されたとおり、各学校には、各教科等の指導に当たって、キーボードなどによる文字の入力など基本的な操作を身に付けさせるための学習活動を充実させることが求められています。**このため、コンピュータの活用方法などの指導をどのように行うかについては、各教科等における情報機器を活用した学習活動の内容を考慮した上で検討することが適切であると考えられます。 文部科学省HP 学習指導要領「生きる力」Q&A 13.総合的な学習の時間に関すること より

(参考) 総合的な学習の時間の探究的な学習の過程において「**コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得し、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるよう配慮すること**」(第5章総合的な学習の時間第3の2(3))とされていること、さらに**国語科のローマ字の指導に当たってこのこととの関連が図られるようにすること**(第2章第1節国語第3の2(1)ウ)とされていることなどを踏まえる必要がある。 小学校学習指導要領 総則編より

平常時の持ち帰りについて

- 1 持ち帰り対象 小学校3年生以上及び中学生
※保護者の同意書が必要
- 2 実施内容例 宿題 オフラインで実施可能等、ネット環境のない家庭の子どもでもできる内容にするよう配慮する。
スキルアップ(タイピングやプログラミング等)

長期休業中の持ち帰りについて

- 1 持ち帰り対象 小中学校 全学年
※保護者の同意書が必要(小学校低学年)
- 2 実施内容例 オンラインで(必須)
Google Workspaceを使って児童生徒とやり取り(健康チェック 宿題相談等)
※家庭のネット環境に配慮する。
オフラインで
オフラインで実施可能なソフト等を使った宿題
スキルアップ(タイピングやプログラミング等)
- 3 ネット環境が整っていない家庭への対応
長期休業期間中に限り、モバイルルーターを貸し出す。
※貸与及び回収は学校の管理下で行う。

非常時の持ち帰りについて

- 1 持ち帰り対象 小中学校 全学年
※保護者の同意書は不要(小学校低学年)
- 2 ネット環境が整っていない家庭への対応
モバイルルーターを貸し出す。
※貸与及び回収は学校の管理下で行う。
- 3 非常時の持ち帰りに向けた準備
 - ① 学校として、非常時に持ち帰らせた際、何をするのか決定する。
 - ② Googleアカウント・パスワードを配付する。
児童生徒に使い方を練習させる。
 - ③ Google Workspaceを使った接続チェックをする。

現在の新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、学校として非常時になった場合でもスムーズに対応できるよう、6月中旬までに、各家庭の接続状況をチェックしていただくよう、よろしくお願いいたします。